

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	<p>・様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査のための人材育成		
		積極的疫学調査等の研修の受講者数(累計)		
		20名	20名(40名)	20名(60名)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課 【 098-866-2013 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	沖縄県IHEAT事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
令和5年度活動内容				各省計上	補助	5,766
新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組んだ。				令和6年度活動計画		
				新興・再新興感染症陽性者確認と積極的疫学調査を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組む。		

活動指標名	積極的疫学調査等の研修の受講者数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	17名	14名	20名 (40名)	70.0%	やや遅れ	感染症の実地疫学調査に関して、最新の科学的知見に基づいた専門的な知識や技術を習得するために国立感染症研究所が実施した講習を14名が受講した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

積極的疫学調査等研修会は、コロナウィルス感染症に対応するため国等による主催で頻回に実施されており、すでに受講を終えた職員も多く、令和5年度1回目の講習は8名の受講にとどまった。その後も未受講者掘り起こしのため受講の呼びかけを続け、第2回目は6名が受講し、合計14名の職員が、最新の科学的知見に基づいた知識や技術を習得した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○達成割合の向上に向けて、保健所等と意見交換を行い、改善策を模索する。	希望者が受講しやすい環境づくりのため、管理者に対してもスケジュールを共有し、説明を行い理解を得られるよう努めた。また、コロナ対応で休止していた業務の再開により、受講時間の確保が難しい保健所に対して、国立感染症研究所と調整を行い講習を修了できるように受講者を支援した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	県で感染対策に従事している県職員に対し受講の案内したが、前年度までに受講を終えている職員も多かったことから、受講希望者が想定を下回った。	⑦ 取組の時期・対象の改善	案内の対象を、IHEAT登録者、今後感染症対策に従事することが見込まれる県職員と広げ、達成率の向上に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所業務の効率化		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	<p>・様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査等の保健所業務におけるデジタル化推進		
		新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催(全体演習回数)(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部感染症対策課 【 098-866-2013 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	—			予算事業名	—		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—			—	—		
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図った。				新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図る。			
活動指標名	新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催 (全体演習回数) (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B	順調	新型コロナウイルス感染症の陽性者に交付する療養証明書発行業務の効率化について、RPA導入のための動作訓練を実施した。
	—	1回	1回	1回 (2回)	100.0%		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
訓練の結果、令和5年度も引き続き療養証明書発行業務にRPAを導入し、事務作業の効率化・省力化に繋がった。							

様式1 (主な取組)

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
今後も、県民ニーズの変化に対応できるよう取り組んでいく。	各保健所で異なっていた様式を統一し、作業要件の簡略化を行うことで、RPAの円滑な導入を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	新型コロナウイルスの対応が県民から求められている状況下で実際の作業を効率化するために実施していた訓練だったため、新型コロナウイルスの5類位置付け変更後は、実施効果が薄れている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	保健所等関係機関との意見交換を行い、感染症拡大時に必要とされる業務を洗い出し、その業務の効率化に対応した訓練内容への更新を検討する。